



TM通信

学ぶ喜び

VOL.4

ー仲間とともにつながる学校へー



Step 1

授業でどんな力をつけたいか、
生徒のどんな姿を目標とするのかを共有。
(学校教育目標・めざす子ども像の確認)



Step 2

指導案検討・模擬授業・事前授業

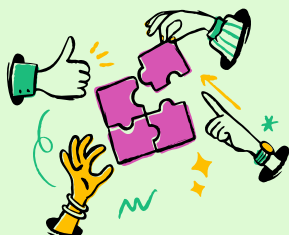
(1) 指導案検討

校内研究では、研究仮説を検証する
という観点から、指導案の作成
は授業者個人にまかせるのではなく、
共同で作成します。

(2) 模擬授業／事前授業

その指導で本当に仮説が検証できる
のか、生徒の学習に有効である
かを実際の授業の形態で吟味しま
す。

また、課題の提示や教材の使用、
発問、板書といった授業の進め方
を子どもの立場で有効かどうか、
その指導案の有効性も確認しま
す。



Step 3

研究授業前 ～役割分担～

研究授業を意義のあるものにし、討議会で
共通の観点にしたがって、具体的な話し合
いを展開するため、前もっての役割分担に
ご協力ください。

授業者のための研究授業から 参観者のための提案授業へ

今年度、1回めの研究授業を伏見先生がしてくださる
ことになりました。ありがとうございます。

先日、研修で、「研究授業あるあるで、研究授業がその先生(または
その授業)のできていないところを出し合うみたいなイメージがあるし、
その授業者だけの負担感が強いのでどうしても手が上がりにくい」という話が
出ました。本校でも研究授業の授業者が決まりにくい実態があり、ここをどうす
れば改善できるのかということは研究部としても悩んでいるところです。

現在教員をしている私たちが、児童生徒の時代に受けてきた授業スタイルとは異
なる、「令和の日本型教育」(って何???).経験したことのない授業スタイルへ
の転換は勇気が必要です。しかし、求められているのはVUCAの時代を幸せに生き抜
く子どもの育成。そのために、どんな教育活動をし、授業を創るのか。(誰が?)

私たち教員も「答えのない問い」に臨むことを求められています。職員室で行わ
れる会話が、生徒の様子や授業のこと、教育観など、生徒の成長のサポートになる
対話であふれ、研究が進む風土が醸成されればいいと思います。そして、提案
授業をしてくださる先生だけの「研究授業」ではなく、生徒の学び合う姿を見とる力
を教職員みんなで高めていけるような研究会を企画したいと思っています。

Step 5

研究討議

～研究討議が個人の
感想会にならないために～

持ち寄った参観シートを
もとに、多角的に成果や今
後改善すべき点を話し合
います。

研究主題や具体的方策
を踏まえて討議し、授業の
成果や課題を明確にする過
程を通して、参加者全員の
授業の質を高めます。

最後に討議で学んだこと
を各自の授業にどのように
活かすか、発表したり、書
いたりします。

Step 4

研究授業／提案授業

「授業観察シート」をもとに授業を参観し
ます。観察シートは、授業改善に向けた具
体的な方策観点に基づき作成していますが、
今後の研究の進み具合によって形式を変更
することもあります。

事後検討会の充実のため、参観シート
への記録をお願いします。

